



学校だより

1月号

横浜市立六つ川台小学校
平成28年1月7日

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

よく「見て、聞いて、語る」年に

学校長 柳澤 潤

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、佳き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

横浜の正月三が日は、晴天が続き穏やかな日和でした。今年も凛々しい姿の元朝の富士を見ることができました。元朝の富士は格別です。心が高揚してきます。六つ川台小学校は昨年より、創立40周年継続中。この時に巡り会い、この時を共有することに誇りと意義を深く感じながら、充実した毎日の教育活動をつくることを強く願いました。いつも、ご支援、ご協力をありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、今年の干支は「申」。猿といえば、日光の三猿を思い起こします。「見ざる、聞かざる、言わざる」との有名なことわざがありますが、私は、より積極的に「見て、聞いて、語る」ことを今年のモットーにしたいと考えます。

教育は今、大きく変わろうとしています。道徳が教科となり、外国語活動の位置づけも変わってきます。教育振興基本計画の自立、協働、創造という言葉や、学習指導要領改訂への鍵となる「アクティブ・ラーニング」との言葉も示されています。18歳以上の投票権が認められ、大学の入試のあり方も大きく変更されます。今まで必要とされていた学力と、これからの時代に求められる学力とは、明らかに違ってきたのです。変革期こそ、本質を見抜く目が必要です。

1年生の子どもたちが、学校探検で校長室に入ってきたときのことです。「校長先生のお仕事って、何ですか」と、突然聞かれました。どんな仕事を、どうして、何のために、しているかは、自身にとって本質的な問いかけです。その場では、上手に答えることができませんでした。その後の朝会で、校長先生の仕事は、「みんなの頑張っているところを見つけることです。すごいねと励ますことです」と伝えました。教育は、どこまでも一人ひとりを大切にすることです。子どもが頑張っている様子を、よく見て、よく聞いてあげることが基本だと思います。職員がそれぞれの立場で、頑張りを認め、励ましを続ければ、子どもはどこまでも伸びることができます。子ども一人ひとりを励ますためにも、教育の動向を知るためにも、よく「見て、聞いて、語る」ことにアクティブでいこうと思います。

今月は「まちとともに歩む学校づくり懇話会」があります。地域の皆様との語り合う機会を生かして、40周年行事等の総括とご意見等を伺います。また、保護者の皆様からの学校評価に対するアンケートについても、紹介させていただきます。皆様のご意見等を真摯に受け止め、何を大事にし、何をどのように改善するかを明確にして、学校説明会等でも発信してまいります。

卒業、進級に向けて、密度の濃い、1・2・3月になります。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。